

令和5年度 第2回 監査委員会 議事録

開催日時 令和6年3月19日（火）午後6時30分～午後8時00分

場 所 杏林大学医学部附属病院第1会議室（外来棟10階）

出席者 委員長 宇井 義典（医療法人社団佳仁会 三鷹第一クリニック院長、
三鷹市医師会監事・前会長）

委員 渡邊 卓（学校法人杏林学園理事、杏林大学長）
近藤 さやか（三鷹市健康福祉部 保健医療担当部長）
橋本 雄太郎（杏林大学総合政策学部元教授）

オブザーバー 近藤 晴彦（杏林大学医学部附属病院病院長）
平野 照之（杏林大学医学部附属病院副院長、医療安全管理部長、医療安全管理責任者）
吉田 正（杏林大学医学部附属病院薬剤部長、医薬品安全管理責任者）
森山 潔（杏林大学医学部附属病院医療機器安全管理責任者）
大荷 満生（杏林大学医学部附属病院医療安全推進室長）
高橋 雅人（杏林大学医学部附属病院医療安全推進副室長）
長島 鎮（杏林大学医学部附属病院医療安全推進副室長）
古島 瑠美（杏林大学医学部附属病院専任リスクマネージャー）
中山 英明（杏林大学医学部附属病院医療安全推進室専従薬剤師）
中野 貴仁（杏林大学医学部附属病院医療安全管理部課長）
高野 智博（杏林大学医学部附属病院医療安全管理部課長補佐）
鈴木 隆仁（杏林大学医学部附属病院医療安全管理部事務員）

事務局 駒形 周一郎（杏林学園総務課課長）
藤本 美佐緒（杏林学園総務課課長）
中野 かおる（杏林学園総務課長補佐）

議 題 医療安全管理体制について、医療安全への取り組みについて

監査項目 医療安全への取り組みについて

- ・鎮静管理（小児）
- ・タイムアウトの実施
- ・当院における医療事故対応への取り組み、他

監査結果・委員からの講評

1. 小児の鎮静管理の説明書については、文言をなるべく平易にわかりやすい表現にして、患者が不安にならないような表現にしていきたい。
適用外薬剤使用の説明については、詳細を追加して記載していきたい。
説明書の文章は見直しを行い、患者目線に立った表現を検討してもらい、医療関係者以外の視点での意見も取り入れてもらいたい。
2. タイムアウトの実施については、良い取り組みであり、実施率の向上が見られ評価できる。引き続き実施率の向上を目指し努力をしていただきたい。
3. 医療安全への取り組みについては、多忙を理由として発生した事例については、結果として多忙であるという言い訳は通用しない。なぜ多忙になるのか、その背景に焦点をあて、改善する努力をしていただきたい。
服薬指導の事例については、服薬方法の理解度を高めてもらうための工夫をしていただきたい。

以上